

# 西洋なし栽培情報第2号

令和5年4月17日  
JA アルプス  
富山農林振興センター

## 1 生育概況

ラ・フランスの開花盛期は、4月9日頃となりました。

今後は、摘果作業を進めるとともに、病害虫の防除に努めてください。

## 2 摘果作業の留意点

- ・ 1回目の摘果作業は、実どまりの状況や果形を十分確認したうえで行ってください。
- ・ 果形と太りがよく、軸の太いもので、着果している部分の下から数えて3番目または4番目の果実を残してください（写真1）。
- ・ 結実量が不十分な場合は、通常は摘果するような奇形果や傷果等も残し、新梢の過繁茂や樹勢が強くなりすぎないように留意してください。
- ・ なお、十分な結実が見込める場合は、満開30日後を目安に1回目の摘果を終了するよう作業を進めてください。



### <仕上げ摘果の留意事項>

- ・ 仕上げ摘果についても、結実量が不十分な場合は、通常は摘果するような奇形果や傷果等も残し、新梢の過繁茂や樹勢が強くなりすぎないように留意しながら、満開後45日後（5月23日頃）を目安に実施する。
- ・ 枝の長さが5～15cmの中短果枝に着果させる（長果枝の先端、腋芽の果実は摘果する）（図1）。
- ・ 新梢が伸びている短果枝に着果させる。
- ・ 枝齢が2～3年の枝の横から出ている短果枝を中心に着果させる。

- ・着果量は4～5頂芽に1果を基本とし、樹勢が弱い（新梢が伸びず葉は少ない）場合は少なめに、樹勢が強い（新梢が旺盛で葉が多い）場合は多めに着果させる。

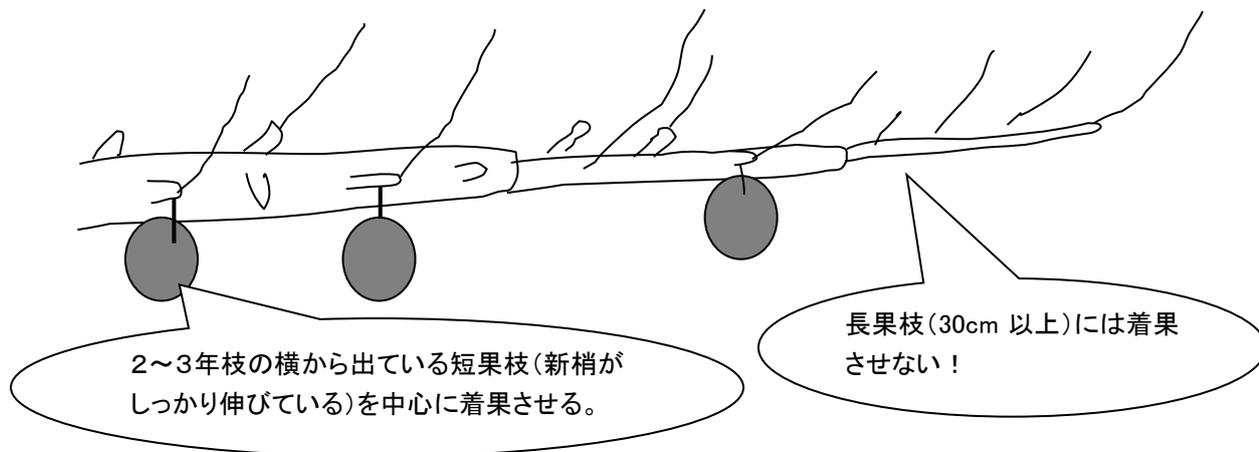


図1 着果位置のイメージ

### 3 今後の病虫害防除

病虫害の発生を防ぐため、散布間隔のあけすぎや散布ムラに十分注意してください。

時期	対象病虫害	散布薬剤名	希釈倍数	散布量 (10a当)	必要薬剤 (100ℓ当)
5月上中旬	黒星病、黒斑病 ハマキムシ類、アブラムシ類、シクイムシ類 (果実の表皮障害防止) (展着剤)	デラフロアブル	1,000倍	500ℓ	100cc
		スミチオン水和剤40	1,000倍		100g
		クレフノン	100倍		1kg
		マイリノール	20,000倍		5cc
5月中下旬	黒星病、黒斑病 (果実の表皮障害防止) (展着剤)	トレノックスフロアブル	500倍	500ℓ	200cc
		クレフノン	100倍		1kg
		マイリノール	20,000倍		5cc
6月上旬 (袋かけ直前)	黒星病、黒斑病、輪紋病 ハマキムシ類、アブラムシ類、シクイムシ類、モンシロドクガ (果実の表皮障害防止) (展着剤)	ベフキノン水和剤	1,000倍	500ℓ	100g
		ダイアジノン水和剤34	1,000倍		100g
		クレフノン	100倍		1kg
		マイリノール	20,000倍		5cc

※4月までの防除は、栽培情報第1号を参照ください。

農薬散布にあたっては、濃度や対象病虫害など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。また、周辺の他の作物や住宅に薬剤が飛散しないように十分注意してください。

### 4 袋かけ(6月上旬～中旬)

輪紋病、胴枯れ病の被害を防ぐため、袋かけを必ず行ってください。袋かけは、仕上げ摘果終了後から6月中旬までに完了するように計画してください。

作業中に小玉果、病虫害罹病果などを摘果し、最終的な着果量となるようにしてください。